



# 大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」

令和3年4月号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
TEL 3762-6456

## 「学年が上がる」という意味

今日は「学年が上がる意味」について、考えてみたいと思います。

学年は当然、段階的に上がっていきます。1年生は先輩としての2年生に。2年生は最高学年としての3年生になりました。しかし、急に偉くなるわけではありませんし、威張っていいわけでもありません。この学年が上がるということは、それにふさわしい自覚と責任、そして振る舞いが求められるのが、学年が上がる本当の意味です。

その意味において、進級して皆さんの意識は大きく変化したでしょうか。

2年生は明日入学してくる不安を抱えた新入生に、1年先輩として大森二中での学校生活における安心感を与えてほしい。1年生は2年生を見て、また2年生のアドバイスを聞いて、大森二中の学校生活を覚えていきます。いつも背中を見られる立場です。ぜひ立派な姿勢を見せてください。

3年生は最高学年として、大森二中の先輩方が築いてきた伝統をどう後輩たちへ伝えていくかを考えてほしい。何をやっても大森二中の代表になります。修学旅行で東京以外の土地で活動したり、進路選択で学校説明会に行ったり、外部の目に触れ、それがそのまま大森二中の評価になります。それ自体、後輩への評価にも影響を与えることにつながります。3年生が立派であるかどうかで、学校そのものの評価になり、次の代、また次の代が、その評価を引き継ぎ、大森二中の伝統にもなっていきます。歴史は今ここで作られるわけです。

生きるということは面白いもので、じわじわと変化するものもあれば、一瞬に変化するものもあります。進級を意識するのは一瞬です。ぜひ意識を大きく変えて、この1年間の目標を立ててください。そして、この1年間、無事故で安全で安心な大森二中を皆さんの力で作ってください。

(4月6日 始業式)

## 第75回入学式式辞

136名の新入生の皆さん、大森第二中学校への入学おめでとうございます。きっと皆さんは、これから始まる中学校生活への大きな期待と少しの不安を抱えていると思います。誰でも新しい環境に足を踏み入れる時には不安を感じるものです。しかし、全く心配はいりません。熱心に指導してくださる頼もしい先生方。そして、今日は参加していませんが、2年生、3年生の先輩方が様々な場面で積極的に力を貸したり、模範を示してくれたりします。今後、いろんな悩みを抱え、困ってしまう場面も多々あるかと思いますが、遠慮せずに周囲の人に声をかけてください。学校全体で皆さんのことを支えていきます。



さて、今日は「学び」について、共に考えてみたいと思います。

学校は当然、「学び（勉強・学習）をする場所」です。では、何のために人間は学ぶのでしょうか。いろいろな考えがあるのは確かです。勉強して試験でいい点をとりたい、と思う人もいるはずで、そのことは否定しません。でも長い人生で「学び」を見た時に、試験でいい点よりも、もっと大事なことがたくさん見えてきます。

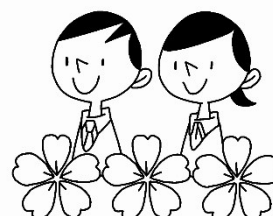
私自身が考える「学び」は、大きくには三つあると思います。1つには、世界市民としての学び、1つには親孝行としての学び、そして自分を新しくしていく学びです。

現在、世界の人口は約78億人です。日本のようにある程度恵まれた生活を享受できない人は、世界にはまだまだたくさんいます。国連が示しているSDGs（持続可能な開発目標）は、人類が目標とすべき事柄をまとめたものです。本校でも、身近な生活からSDGsを意識できるように、5つの取組を推進しています。世界を変えていくには、1人1人の身近な意識の変革が大事です。その基盤になるのが中学校での学びです。世界を視野に羽ばたくための第一歩です。大いに世界の現状を学んで、将来、人類のために社会で貢献できる人へ成長してください。

次に学んだことをぜひ保護者の方々と意見を交わしたり、伝えたりしてほしいと思います。現在は、様々な方法で情報を得ることができ、意識次第で学びがどんどんと深くなります。知識を深めることで、自身の行動にも変化が現れ、大人への階段を一步步進んでいくこととなります。その学びの積み重ねは、自分をたくましく成長させ、保護者の方々の喜びになるはずで、それが必然的に親孝行につながることは間違いありません。

そして、学び続けることは、自分を常に新しくしていく最善の方法です。人間は日々、自分を更新していく必要があり、昨日より今日、今日より明日に向かって前進していかなくてはなりません。時は過去には遡らないからです。社会の変化が激しい今日、その変化に対して、主体的に時代を捉える眼を養うには、学びを通して、新しい知識の種を自分の中に植えていくことです。将来、それが花を開き、自分にしかない個性を咲かせることとなります。

鎌倉時代に成立した『古今著聞集』の「草木」の項に「春は桜梅桃李（おうばいとうり）の花あり 秋は紅蘭紫菊（こうらんしぎく）の花あり」とあります。それぞれの草木には、それぞれの良さがあります。皆さんもその花々と同じで他人と比較する必要はありません。自分自身をどこまでも見つめて、ぜひ、中学校時代に学びの王者になって、自分の可能性を思う存分に伸ばしてください。



令和3年4月7日

大田区立大森第二中学校校長

成清 敏治

### 【 保護者の皆さまへ 】

大森第二中学校2年目になりました、校長の成清（なりきよ）です。今年度もよろしくお願ひいたします。コロナ禍の中での学校生活です。いろいろと制約が出る可能性があります。本年度も教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【今後の学校行事予定】

|                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 4月12日（月）全校朝礼         | 4月24日（土）土曜授業    |
| 4月13日（火）保護者会         | 4月26日（月）生徒朝礼    |
| 4月15日（木）避難訓練         | 4月28日（水）区学習効果測定 |
| 4月16日（金）専門委員会        | 4月30日（金）離任式     |
| 4月19日（月）授業公開週間（～24日） | 5月6日（木）部活動保護者会  |